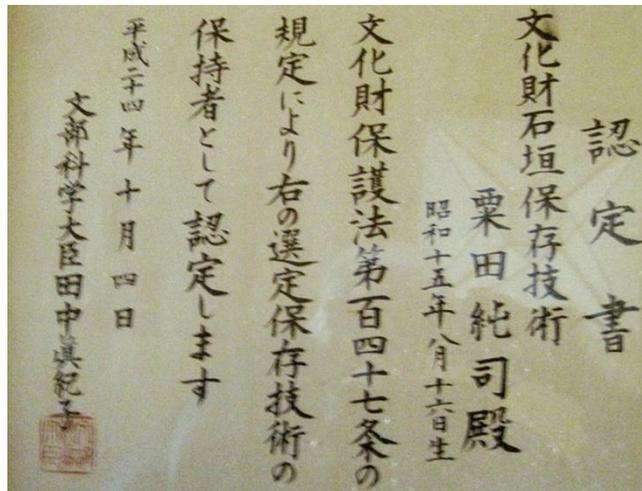


# 文化財石垣保存技術協議会会報

平成24年(2012) 第9号 ー平成24年度事業報告ー

栗田会長が選定保存技術の保持者に追加認定されました。



栗田会長の認定証

文化審議会 平成24年7月20日付け答申

国の文化審議会が追加認定するよう答申した選定保存技術の保持者

|             |  |
|-------------|--|
| 選定保存技術の名称   | 文化財石垣保存技術  |
| 氏名          | あわた じゅんじ<br>栗田 純司 (滋賀県大津市坂本)   |
| 選定保存技術の選定基準 | 【有形文化財等関係】<br>一 有形文化財、有形の民俗文化財又は記念物の保存のために欠くことのできない伝統的な技術又は技能のうち修理、復旧、復元、模写、模造に係るもので保存の措置を講じる必要のあるもの   |
| 選定理由        | <p>文化財石垣保存技術は、史跡等に指定された城郭等の石垣・石積遺構の解体・修理等を行う技術であり、高度な技術及び豊富な経験が必要とされる。</p> <p>史跡等の本質的価値を次世代へと確実に継承していく上で重要な技術であり、精度の高い修理等を行うためには伝統的な技術練磨が不可欠であり、一方、今は使われなくなった伝統的な石垣保存技術を研究し、再興することも重要である。</p> <p>そこで、文化財石垣保存技術の保存の措置を講じるため、保存団体として文化財石垣保存技術協議会が認定されており、このたび、保存団体に加えて栗田純司氏を保持者として追加認定するものである。</p> <p>〈保持者の概用〉<br/>穴太積みの技法をはじめ、文化財石垣の保存技術のすべての技法を体得し、長年にわたる高い見識と豊富な経験を積み重ねており、同人が携わった城郭石垣は高い品質を持ち、その豊かな経験及び技量が高く評価されている。</p> <p>また、文化財石垣保存技術協議会の設立に尽力し、会長として、文化財石垣の保存・継承に携わる技能者等の育成などに大きく貢献してきている。</p> |

技能者養成研修〔第2回〕（講義研修会）

日 時 平成24年10月5日（金）～8日（月・祝）

場 所 仙台市民会館・会議室

仙台市博物館・ホール

受講者 技能会員11名、技術・研究会員8名

研修内容

テーマ「地震が及ぼした石垣への影響」

| 日             | 講習内容                   | 講 師  |
|---------------|------------------------|--|
| 10/5(金)       | 仙台北城跡石垣<br>見学          | 仙台市教育委員会担当者                                      |
| 10/6(土)       | 石材の特徴                  | 奥田 尚（樺原考古学研究所共同研究員）                              |
|               | 文化財発掘調査                | 五十嵐 貴久<br>（山形市教育委員会）                             |
|               | 地震と石垣その復元にむけて          | 矢野 和之（榊文化財保存計画協会・本協議会会員）<br>金森 安孝<br>（仙台市博物館副館長） |
| 10/7（日）       | 城郭史                    | 北野 博司（東北芸術工科大学准教授/本協議会評議員）                       |
|               | 土木理論                   | 西形 達明（関西大学教授）                                    |
|               | 設計と現場管理                | 真鍋 建男（榊空間文化開発機構・本協議会会員）                          |
|               | 工事と安全性                 | 安河内 孝（元清水建設ダム建設グループ/本協議会会員）                      |
| 10/8<br>（月・祝） | 二本松城跡、<br>小峰城跡石垣<br>見学 | 二本松市教育委員会担当者<br>白河市担当者                           |



講習（奥田講師）



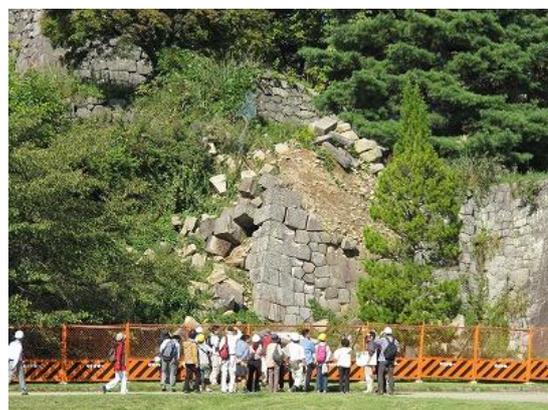
講習（北野講師）



講習（西形講師）



石垣見学（仙台北城跡）



崩壊石垣見学（二本松城跡）

実地研修（第10回全国城跡等石垣整備調査研究会と共催）

日時 平成25年1月24日（木）～26日（土）  
 場所 兵庫県姫路市（イーグレひめじ、姫路城跡）  
 受講者 技能会員22名、技術・研究会員18名  
 一般会員5名、賛助会員1名、評議委員3名

研修内容

テーマ「地震が及ぼした石垣への影響」

| 日           | 内容等                                      | 発表者等  |
|-------------|--|---|
| 1/24<br>(木) | 挨拶                                       | 矢野 和彦（文化庁文化財部<br>記念物課長）<br>栗田 純司（文化財石垣保存<br>技術協議会会長）<br>石見 利勝（姫路市長） |
|             | 主旨説明                                     | 本中 眞（文化庁文化財部記<br>念物課主任文化財調査官）                                       |
|             | 石垣修理の課題と<br>展望                           | 田中 哲雄（日本城郭研究セ<br>ンター名誉館長）   |
|             | 姫路城石垣修理の<br>10年と今後                       | 多田 暢久<br>（姫路市立城郭研究室）  |
|             | 史跡篠山城跡の石<br>垣整備について                      | 植木 友（篠山市教育委員会<br>社会教育・文化財課）   |
| 1/25<br>(金) | 東日本大震災によ<br>る城郭の被災と復<br>旧                | 金森 安孝（仙台市博物館）   |
|             | 石垣整備のてびき<br>（中間報告）                       | 市原 富士夫（文化庁文化財<br>部記念物課文化財調査官）                                       |
|             | 小牧山城の調査と<br>整備、そして石垣                     | 小野 友記子（小牧市教育委<br>員会文化振興課）   |
|             | 石垣協議会の設立<br>を踏まえ10年を総<br>括、今後は展望         | 真鍋 建男（文化財石垣保存<br>技術協議会）   |
|             | 討論会<br>「石垣修理10年の<br>総括とこれからの<br>取り組みと課題」 | コーディネーター<br>矢野 和之（文化財石垣保存<br>技術協議会）<br>各発表者                         |
|             | まとめ                                      | 本中 眞（文化庁文化財部記<br>念物課主任文化財調査官）                                       |
|             | 次期開催地挨拶                                  | 萩市歴史まちづくり部<br>文化財保護課  |

|             |                                  |             |
|-------------|----------------------------------|-------------|
| 1/26<br>(土) | 姫路城跡の石垣と<br>大天守修理見学施<br>設（天空の白鷺） | 姫路市教育委員会担当者 |
|-------------|----------------------------------|-------------|



報告（イーグレひめじ）



討論（イーグレひめじ）



栗田会長挨拶



現地視察（姫路城跡）

## 後継者育成研修

日 時 平成25年2月18日(月)～22日(金)

場 所 赤穂城跡(兵庫県赤穂市)

受講者 技能会員2名



研修状況(赤穂城跡)



研修状況(赤穂城跡)

### ■事務局からのお知らせ

平成25年1月24～26日に、あいめっせホール(イーグレひめじ)他で開催した「第10回全国城郭等石垣整備調査研究会」に際し全国の関係機関が作成した調査票を集めた資料集と当日の発表内容、様子等をまとめた記録集の2冊セット(3000円)を販売しております。

(資料集:A4判.329頁、記録集:A4判.149頁)

#### 【販売場所・お問い合わせ】

日本城郭研究センター2階 城郭研究室

(平日の9～17時) TEL 079-289-4877

姫路市城郭研究室 書籍係

「2009年研修会資料集」(1000円+送料210円)、「研修資料集(第1集)」(2000円+送料340円)を販売しております。ご希望の方は下記のとおり申し込み願います。

【申込方法】資料代金は現金または郵便定額小為替、送料は切手で、両方を現金書留等の郵送で事務局に申し込んで下さい。

詳細は、姫路市立城郭研究室ホームページ(<http://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken/index.html>)にも掲載しております。

### ■事務局・広報担当からのお願い

○研修会などの参加感想や、文化財石垣について日頃疑問に思っていることなどありましたら下記事務局まで書面にてお知らせください。

年2回の会報ですが、可能な限りお答えしていきたいと思っております。

○当協議会が実施する研修内容や項目について要望があれば書面で事務局までお知らせください。

内容を検討のうえ、各種事業に反映させていただきます。

○各地の文化財石垣情報、書籍、刊行物の発行がありましたら情報提供ください。

### ■入会手続き

入会をご希望の方は、まず事務局にご連絡ください。当協議会の入会申込書を送付いたしますので、必要事項を記入のうえ、下記の事務局へご返送ください。

役員会にて会員資格審査後、入会通知書及び会費納入の振込用紙を送付します。年会費(4月～翌3月)をお振込いただき、事務局で正式に受理した日から本協議会会員として登録します。

### ■文化財石垣保存技術協議会会員数

(平成25年3月31日現在)

|         |      |
|---------|------|
| 技能会員    | 124名 |
| 技術・研究会員 | 61名  |
| 一般会員    | 14名  |
| 賛助会員    | 14名  |
| 評議員     | 9名   |

発行年月日 平成25(2013)年3月31日

編集・発行 文化財石垣保存技術協議会

事務局住所 〒670-0012 姫路市本町68-258

日本城郭研究センター内

TEL 079-289-4877 FAX 079-289-4890